

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
☎ 042-795-7361 (FAX: 必  
要に応じて186を頭に加える)  
議会 042-724-2171  
yoshidaben@gmail.com



## 小野路球場だけは鳴り物禁止

今回の定例会の一般質問では、高校野球の応援に関して、鳴り物(プラスチック等)を使えなくさせているのは、多摩地域の公営野球場の中で、町田市営小野路球場だけだということを明らかにしました。プラスチックの応援を可能にさせるように取り組みます。

最初は町田市が禁止していたものを、以前の一般質問を通じて、解禁させました。その後、コロナ期に禁止して以降、2023年から、「近隣からクレームが来たら、中止させる」という条件を高校野球連盟に伝え、連盟側自らにプラスチック応援をしないと約束させています。町田市は直接禁止させないが、相手側に中止を判断させるというアンフェアな方法だと思います。

今回の質問で分かったのは、町田市を含む西東京都大会エリアで、その禁止は東京都営駒沢球場と府中の明大球場(民間)だけでした。他の公営球場でプラスチックを禁止する施設は一つもなく、府中市立市民球場もプラスチックが演奏できます。実際に球場に高校野球の応援に行ってみればすぐにわかることですが、野球部と吹奏楽部は非常に親密性が高く、公立も私立も共通した連携です。



一塁側が桜美林高校の応援者が満員 (八王子球場)

## 一般質問:町田市の自治体災害支援の成果

町田市は2020年以降で、他の自治体の災害支援で、3回出動しています。特に、災害ごみの収集職員と車両を現地に派遣し、頼りにされている話を、山形県川西町を視察訪問した際に、原田町長を始め、関係者の説明で詳しく伺いました。交流都市間では、災害時応援の協定を結んでおり、その約束で町田市が昨年の水害復旧支援を行ったものです。



川西町よりの説明写真を利用

川西町に派遣された職員に、原田町長がお礼のあいさつを行う写真のあ

町田市は一般家庭のごみ収集民営化を寺田前市長の時代に決定しましたが、一部を町田市直営で残しました。緊急事態などに対応することが目的でしたが、地震や大雨の災害が起きた場合、職務命令の通告だけで直ちに職員を派遣できるのが特徴です。長野市や川西町の水害では、他に先駆け、一早く支援の人員と車両の派遣が実行できたものです。他方で、東日本大震災では、直接交流を結ぶ都市が無く、東京都の支援要請を待つのみでした。そのため、近隣都市では最も支援活動が遅れた自治体になりました。都市間の連携を複数持っている、情報連絡が早く、また、支援ノウハウも情報収集が豊富になることも分かりました。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました



若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、  
夏季の第52期生がスタート

## インターン体験記①柴田 真衣

議会の一般質問 (より良い街にするために)

今回、令和5年第3回町田市議定例会の傍聴に参加させて頂きました。私のような若い者は傍聴などほぼ参加することはない、実際どのように議会の会議が行われているのか知らずに今まで過ごしてきました。一人が60分という短い発言時間の中で街づくりの考えや学校・児童の問題、子育ての支援から犯罪の予防策などそれぞれの表題についてしっかり対策や案を出し、私達市民の生活を考えてくれていることが分かりました。また、私以外にも傍聴を聞いている方が大勢いて会議に関心を示めされていました。良い街を作るのには長い時間と多くの人が集まってできるのだと理解することができて良かったです。

個人的に気になった表題は多摩都市モノレールについてです。町田は学生が多いので通勤がしやすくなれば大きな発展になると思いましたが、しかし、思った以上に色々な問題が重なっていて一筋縄ではいかないのだと分かりました。いつの日かモノレールが通っているところが見てみたいです。



昭和女子大学3年生 柴田 真衣(第52期生)

## 町田総合体育館の指定管理者の変更議案

町田市総合体育館の指定管理者の指定に関する契約案件が出ていました。現在と異なる業者名が記載されており、それは前回の議案が1票差で可決した際に、プロポーザル方式で提案を受け、町田市が採用しなかった業者がカンバックしたものでした。



私の質疑に関して詳しい説明はされず、前回と異なるのは、対象施設が3か所から4カ所になったことの説明があったことで、選考の委員がこれまた1名増えたとのことでした。また、業者指定に関して地元貢献の評価ポイントが入っているとのことでした。プロポーザル方式と言うのは、議論では中身がなかなか明かされないのだと痛感しました。なお、私は前回の業者決定においては、「地元業者が入っていない」ということを指摘し、反対討論を述べましたが、今回は地元の業者に決定したものです。今度の議案のように、その地元関係業者がメインになった業者連合が、現状の市外業者を退けてカンバックしたことは喜ばしいことですが、どういふことで、そうした逆転が可能であったのか、行政は業者選定の過程と基準を明白にする必要があると考えるものです。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2023年9月末までに105名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。